

生命いのちの言葉

平成二十九年十二月

あめ つち

天地の御恩 日夜に忘れぬは

ご おん

ぞんじたてまつりそうろう

神道のはじめと奉存候

井上正鐵いのうえまさかね

裏面もご覧ください。

生命いのちの言葉
十二月

井上正鐵著「唯一問答書」の一節。
私共を生かしてくださっている天地の
お働きを忘れず、そのお恵みのお陰で
生きていることを感謝することこそ
神道のはじめの大切な一歩です。

井上正鐵いのうえまさかね

寛政二年（一七九〇）〜嘉永二年（一八四九）。
幕末の神道家、禊教教祖。山形藩主の秋元侯家臣、
安藤真鐵の次男として生まれ、諸国を遍歴して
修行。神祇伯白川家に入門して現在の梅田神明宮
の神主に就任。民衆を救済・教化するも、幕府の
嫌疑を受けて三宅島に遠島され、現地で逝去。

今月の祝日

〔天皇陛下御誕生日（二十三日）〕昭和八年にお生まれになられた天皇陛下のお誕生日。国民こそってお祝い致しましょう。

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



神社は心のふるさと
未来に受け継ごう
「美しい国ぶり」